

令和3年度 一般財団法人鳥取県観光事業団事業計画

1 基本方針

令和3年度はとっとり花回廊の第四指定管理受託期間3年間の初年度、その他の7施設は中間年となる3年目を迎える。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けて、利用者の減、収入の減、イベント等の積極的なサービス事業の自粛など、我慢の経営を強いられた。新型コロナウイルス感染症の収束は不透明であり、コロナ禍以前の生活や観光の形に戻るにはまだ時間がかかると思われる。コロナ禍での観光、職員の働き方など新しい時代にあった取り組みを考え、観光事業団全体で取り組むとともに、関係者の支援をいただきながら鳥取県とも連携し、経営の健全化、お客様満足度の向上を目指し、困難な時代を乗り切る。

また、働き方改革や健康経営にも継続して取り組むほか、研修等の充実を図ることで人材育成を進め、観光事業団の組織力、ブランド力の向上を目指す。

2 集客目標

施設名	R3年度		R2年度		対比	
	通常時(A)	コロナ時(B)	計画(C)	見込(D)	(A)/(C)	(B)/(D)
こどもの国	155,000	100,000	155,000	66,190	100.0%	151.1%
かにっこ館	250,000	180,000	320,000	118,726	78.1%	151.6%
響の森	44,000	30,500	44,000	30,400	100.0%	100.3%
臨海公園	390,000	287,000	400,000	232,713	97.5%	123.3%
燕趙園	70,000	30,000	75,000	25,998	93.3%	115.4%
梨記念館	108,000	76,000	104,800	60,000	103.1%	126.7%
タワー	125,000	41,000	125,000	35,000	100.0%	117.1%
花回廊	350,000	330,000	360,000	171,155	97.2%	192.8%
合計	1,492,000	1,074,500	1,583,800	740,182	94.2%	145.2%

令和3年度 事務局本部事業計画

1 管理運営の基本方針

(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

- ・施設共通事業の実施による利用促進

(2) 観光振興への寄与

- ・鳥取県や観光関連団体との連携強化による観光振興への寄与

2 令和2年度の成果・課題

(1) 「一般財団法人鳥取県観光事業団」の企業ブランドの向上について

コロナ特休の制定やパートスタッフの年次有給休暇付与時期の変更（予定）など、職員の意見を取りまとめて改定を行い働きやすい職場環境の整備に努めた。

(2) 顧客満足度事業の実施

新型コロナウイルス感染症によってキャンペーン等の事業の実施を凍結または延期したが、お客様満足度向上委員会でもコロナ禍の時代にあった対策を再検討し次年度実施に向けた取組を行った。

(3) 研修の実施について

職責、各施設の業務に合わせて研修をコーディネートし、従来の現地参加型の研修から、リモートで参加可能な研修に変更し、職員のスキルアップに努めた。

(4) SNS や YouTube を活用した各施設の広報活動の推進

施設の SNS 発信担当者対象の Facebook 等の利用者分析、効果的な見せ方などのスキルアップ講習会を外部の講師に依頼して実施。ソーシャルメディアによる広報の促進と集客アップにつながる一歩となった。

3 令和3年度に取り組む重点項目

(1) 働きやすい職場環境づくり

コロナ禍の中だが、職員が働きやすい職場環境を整える。

- ・ワークライフバランスの推進
- ・職員の処遇改善（休暇が取りやすい環境整備など）
- ・現在の業務システムの見直しや検討（決裁事務・勤怠管理の電子化）

(2) 顧客満足度事業の実施

顧客満足度の向上と職員のモチベーションアップを図る

- ・お客様満足度向上委員会からの提案を具体化し実施

(3) 研修の実施について

職員個々のレベルアップを図ることで、事業団全体のレベルアップを図る。

- ・企業ブランド向上に関する研修
- ・実際の業務に使える研修の探求、実施（SNS 研修、労務管理、管理職研修など）

(4) SNS や YouTube を活用した広報活動の推進

- ・ソーシャルメディアを中心とした WEB 広報の推進
- ・新たな WEB 広告メディアの探求（LINE 公式アカウント）

4 令和3年度その他の取組項目等

(1) 鳥取県の所管課と緊密に連携した、迅速な課題解決

(2) 施設の新型コロナ対策認証事業所の取得など、感染拡大防止対策の強化

5 コロナ感染継続時の対応

各施設の収支状況を把握し、施設協議の上、事業予算の縮小凍結など、優先順位をつけた事業運営を進める。

令和3年度 鳥取砂丘こどもの国事業計画

1 管理運営の基本方針

(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

- ・児童の健全育成に資する魅力ある事業の実施

(2) 観光振興への寄与

- ・鳥取市内の観光施設及び鳥取砂丘との連携強化

(3) 安心して遊べる環境

- ・日常・保守点検の充実と迅速な修繕

(4) 自然とふれあう場所の提供

- ・樹林地の整備

2 令和2年度の成果・課題

(1) 花の丘について

開花時には家族連れ以外の姿も多く見られた。また6月の2日間で実施した球根堀は多くの人出でにぎわった。ただしその後、種蒔したシロツメクサの生育が悪く、イベント等を実施できなかった。

(2) ぼうけんアスレチックコースの新設及び樹林地整備について

5年計画で現在2基のアスレチック遊具を設置したが数も少なく、またコロナがあり小学校のキャンプ活動が制限されたこともあり有効的に活用できていない。3年度以降は、キャンプイベント等で活用予定。

(3) 真夏のスケートイベントについて

- ・コロナのため実施中止

(4) 星空イベントについて

- ・コロナのため実施中止

(5) ホームページリニューアル

- ・現在作業中。
- ・スマートフォン対応、MAPの変更、ユニバーサルデザインなどの導入。

3 令和3年度に取り組む重点項目

(1) 花の丘について

- ・夏開花予定の花畑（ひまわり）を新たな観光スポットとし、家族連れ以外の集客を目指す
- ・花後に種取イベントを行い親子の触れ合いの場を創出

(2) ぼうけんアスレチックコースの新設及び樹林地整備について

- ・樹林地に5ヶ年計画で5基の木製アスレチック遊具を設置（3年目）
- ・ネイチャーゲームなど、キャンプ利用とからめたアウトドア活動の一環として自然豊かな園内全体の利用を促進（春秋にキャンプイベントを実施予定）

(3) 真夏のスケートイベントについて

- ・お盆期間に多目的ホール内に樹脂製スケートリンクを設置し、近隣では夏に体験することができないスケートを家族で楽しんでもらい話題性を高める

(4) 星空イベントについて

- ・「星取県」である鳥取県の星空の魅力を「モバイルプラネタリウム」や星にちなんだ工作やゲームなどの実施でPR
- ・要望が多く人気のプラネタリウムイベントで冬期間の集客を図る

4 令和3年度その他の取組項目等

(1) 食育イベント「マルコラ」の開催（5～6月、第5回）

(2) 鳥取市児童館フェスタ（10月頃）

5 コロナ感染継続時の対応

- ・屋内イベントについては換気を十分に行う（特にプラネタリウムについては十分に行う）
- ・食育イベント「マルコラ」の実施は慎重に検討する。

令和3年度 とっとり賀露かっこ館事業計画

<p>1 管理運営の基本方針</p> <p>(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none">・お客様目線でのサービスの充実や魅力あるイベントの開催による集客の促進 <p>(2) 水産振興への寄与</p> <ul style="list-style-type: none">・イベント・展示を通じ、カニを中心とした鳥取県の水産資源の魅力を発信 <p>(3) 観光振興への寄与</p> <ul style="list-style-type: none">・賀露地域の周辺事業者と一体となった事業の実施による地域の賑わいの創出
<p>2 令和2年度の成果・課題</p> <p>(1) 複合イベント「かにかにカーニバル」を中止</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見合わせた。コロナ禍においても実施できる新たな取り組みが求められる。 <p>(2) 解説パネルのリニューアルを保留</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルスの影響を受け、経費節減のため執行を保留中。回復の状況を踏まえて執行に向かう。 <p>(3) クラゲ季節展示を実施</p> <ul style="list-style-type: none">・飼育技術が向上して3か月間展示でき、来館者から好評を得た。クラゲは短命で飼育が難しいため、常設展示として通年維持するのが難しいが、来館者の要望が多いため、今後も期間限定での実施を目指す。 <p>(4) 屋外プールえさやり体験を中止</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ対応のため屋外への人員の配置が難しく、屋内に簡易水槽を設置してメジナのえさやり体験を夏から秋にかけて実施した。今後も定期的に魚種を変えて、年間を通してえさやり体験を実施できる方法を模索する。
<p>3 令和3年度に取り組む重点項目</p> <p>(1) えさやり体験の拡充</p> <ul style="list-style-type: none">・簡易水槽を大型化し、季節により魚種を変えることにより、年間を通して実施・安定した収入源を確保し、得られた収入は利用者サービス向上のために活用 <p>(2) 展示パネル更新</p> <ul style="list-style-type: none">・生物への関心を惹く、読まれやすい展示説明への更新を順次実施・常設パネルについては、リニューアルと合わせて英語併記を実施 <p>(3) クラゲ季節展示</p> <ul style="list-style-type: none">・夏～秋期間のクラゲ展示コーナーを定番化・話題性も考慮し、クラゲの種類を増やしたり変えたりすることも検討・将来的に常設展示も視野に入れて、展示期間の延長を目指す
<p>4 令和3年度その他の取組項目等</p> <p>(1) 水生生物飼育に係る人材育成</p> <ul style="list-style-type: none">・飼育管理業務委託の終了に伴い、新たに雇用するスタッフの人材育成・すさみ町立エビとカニの水族館への飼育員の研修派遣・日本動物園水族館協会教育研究会への入会と大会参加による技術交流 <p>(2) ホームページの改善と活用</p> <ul style="list-style-type: none">・来館や取材に繋げるためのコンテンツ及びデザインの見直し・操作性及び機能の改善 <p>(3) 建物周辺の美化</p> <ul style="list-style-type: none">・芝生の補修等による景観美化
<p>5 コロナ感染継続時の対応</p> <ul style="list-style-type: none">・展示パネル更新については、収益事業収入が見込めない場合は保留・人材育成に係る県外への派遣や交流は中止

令和3年度 氷ノ山自然ふれあい館事業計画

<p>1 管理運営の基本方針</p> <p>(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none">・ビジターセンター機能の充実と魅力ある自然体験プログラムの実施・楽しく、快適に過ごせる施設として展示や用具等の環境整備 <p>(2) 観光振興への寄与</p> <ul style="list-style-type: none">・地元の観光資源、自然資源を活用したイベントやエコツアー等の実施・氷ノ山や若桜町等の魅力の発掘 <p>(3) 営業・広報活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none">・県内外の幼稚園、小学校、公民館等へ営業・広報活動の実施による利用促進
<p>2 令和2年度の成果・課題</p> <p>(1) 特別企画の開催</p> <ul style="list-style-type: none">・夏休み特別企画「昆虫写真展」は前年対比 111%、秋の特別企画「しかたなく、シカ展」は前年対比 180%で、家族連れや自然に興味ある方などを多く集客し、マスコミにも取り上げられた。・新型コロナウイルス対応により、手で触れる展示の縮小やクッキングイベント、講演会等が中止になった。 <p>(2) 新型コロナウイルス感染拡大にともなう代替イベントへの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・親子向け自然観察会のイベントを中止し代替の動画配信をおこなったが、実際に参加しているようだと視聴者に好評だった。また、安心して参加できる家族・グループ向けのエコツアーの一層の取り組み（前年対比 174%）や来館できない団体へ出前を実施した。・密にならないイベントの実施方法や県外者への対応に苦慮した。 <p>(3) ライブカメラの設置</p> <ul style="list-style-type: none">・ホームページにて家から氷ノ山の様子を見ることができるようになった。
<p>3 令和3年度に取り組む重点項目</p> <p>(1) 魅力あるプログラムの開催</p> <ul style="list-style-type: none">・幼・保育園、小学校、事業団施設等への出前を継続実施（野外活動、創作体験、講座等）・新たな内容によるプログラムの開催（石ころ標本、薪割講座、大人の森のようちえん等）・フリースペースを活用した展示 夏休み特別企画：森のようちえん等の活動に取り組んでいる小西貴士氏撮影の、自然の中の子どもたちの写真展等 秋の特別企画：クマ展（クマの生態や被害の現状、対策などを取り上げる） <p>(2) 情報の発信、広報への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・フェイスブックやInstagramによる自然情報やイベント情報の発信・チラシの改善（全面カラー化で訴求力の向上を図る） <p>(3) 地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none">・山フェス等地元関係者と連携したイベント開催への取り組み・若桜鉄道との連携の検討（若桜鉄道利用者への割引等）
<p>4 令和3年度その他の取組項目等</p> <p>(1) わかさ氷ノ山・山フェス</p> <ul style="list-style-type: none">・10月23日(土)開催予定※わかさ氷ノ山・山フェス実行委員会主催事業 <p>(2) 氷ノ山夏山開き</p> <ul style="list-style-type: none">・5月30日(日)開催予定※わかさ氷ノ山夏山開きイベント実行委員会主催事業
<p>5 コロナ感染継続時の対応</p> <ul style="list-style-type: none">・定例イベントは、感染状況に応じて定員を減らす、または延期や中止にする。・特別企画等での外部講師は招かずにリモート開催にする。

令和3年度 東郷湖羽合臨海公園事業計画

<p>1 管理運営の基本方針</p> <p>(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進 公園施設の整備</p> <p>(2) 観光振興への寄与 地域と連携したイベント実施</p> <p>(3) 新たな視点による公園づくり 南谷地区パーゴラに常設屋根設置 あじさい園整備</p> <p>(4) 住民ニーズに対応したイベント開催、地域貢献 子育て応援、シニア向け教室実施</p> <p>(5) 安全・安心に配慮した公園管理 公園施設、遊具の安全点検</p>
<p>2 令和2年度の成果・課題</p> <p>(1) 公園づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・浅津公園あじさい園を宿根草や球根植物に植栽変更（今年度内実施）・あやめ池公園の地盤沈下し水が溜まる芝生地を嵩上げ整備（完了）・あやめ池公園生育不良樹木間伐（完了）・夢広場、キリン公園の樹木が大きくなり見えにくい看板を更新（今年度内実施） <p>(2) 湯梨浜町との連携</p> <ul style="list-style-type: none">・「宙ユリ」開花、湯梨浜町広報誌「広報ゆりはま7月号」に掲載 <p>(3) 燕趙園との連携イベント</p> <ul style="list-style-type: none">・「燕趙園花火」「秋の感謝祭」「春のこどもまつり」を新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 <p>(4) イベントの拡充</p> <ul style="list-style-type: none">・新規イベント「トレイルマラニック」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
<p>3 令和3年度に取り組む重点項目</p> <p>(1) 公園づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none">・南谷地区パーゴラ整備（パーゴラ上部に日よけ（雨よけ）設置）・あじさい園整備（新規植栽の状況を把握し補植整備） <p>(2) SDGs（持続可能な開発目標）の取組みイベントについて</p> <ul style="list-style-type: none">・SDGsで掲げる目標に即した内容でイベントを計画。「リサイクル」をテーマにし、フリーマーケットの実施。また、「クリーン活動」をテーマとした、参加型ゲーム形式のイベントの実施。
<p>4 令和3年度その他の取組項目等</p> <ul style="list-style-type: none">・ドックランをイベント（秋の感謝祭など）で試験的に実施し、運用方法等を検討。
<p>5 コロナ感染継続時の対応</p> <ul style="list-style-type: none">・イベント・スポーツ教室等の自主事業は、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し開催。

令和3年度 中国庭園燕趙園 事業計画

1 管理運営の基本方針

(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

- ・四季折々の庭園の魅力発信
- ・案内機能の充実による魅力づくり

(2) 観光振興への寄与

- ・地域連携による賑わいの創出
- ・人が集まり憩う道の駅づくり

(3) 中国文化の発信

- ・中国らしさの演出
- ・関係団体との連携

2 令和2年度の成果・課題

(1) 夏休み特別イベントについて

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止。次年度スライド開催。

(2) 中国関連催事の充実について

- ・中国文化センター関連の催事（春：現代中国風刺漫画作品展、秋：舞踏公演）はすべて中止。
新型コロナウイルス収束後の開催を検討。
- ・中国花文字展（11月～1月）実施、中国書画展（3月～）実施予定。
コロナ禍において中国文化を発信。

(3) 道の駅・老龍頭の利用促進について

- ・春の感謝祭の中止（4月）。
- ・秋の収穫祭の実施（10月）。
新型コロナウイルス対策を施し実施も、想定以上の集客がありさらなる対策が必要。

(4) 臨海公園連携イベントについて

- ・庭園花火、屋台出店の中止。
- ・イルミネーション連携イベントは両施設の周遊に一定の効果があった。

3 令和3年度に取り組む重点項目

(1) 夏休み特別イベントについて

- ・新日本海新聞社との共催イベントを継続開催
日本海テレビ、湯梨浜町など関連団体と連携して開催
- ・「へんないきもの水族館」を開催予定
不思議な生き物や深海の海洋生物を展示、タッチングプールの充実

(2) 臨海公園連携イベントについて

- ・4月（芝桜～ボタン園周遊催事）
- ・10月（秋の感謝祭）
- ・12月（イルミ連携催事）
- ・3月（春のこどもまつり）

(3) 道の駅・老龍頭利用促進について（道の駅10周年）

- ・道の駅10周年感謝祭及び秋の収穫祭の開催。
- ・折込チラシにより地域に密着した店舗運営を図る。

(4) 広報事業の強化

- ・年次計画でターゲットを絞った広報活動を行うことにより認知度向上を図る。

4 令和3年度その他の取組項目等

(1) 中華コスプレ大会（主催 中華コスプレ大会実行委員会）

(2) ウォーキング大会（天女ウォーク、ガストロノミーウォーク、100kmウォーク）

5 コロナ感染継続時の対応

3については感染状況を確認し、感染対策によって可能な場合に実施。

4については感染状況により実施の有無を各実行委員会にて判断。

令和3年度 鳥取二十世紀梨記念館事業計画

1 管理運営の基本方針

(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

- ・お客様の視点に立った、心を込めた接客の実施
- ・展示内容や梨に関する専門的な説明などガイド機能の充実
- ・県産梨を使用した梨記念館の魅力向上、県産梨の消費拡大への寄与
- ・館内情報の提供だけでなく周辺地域等の観光案内など総合案内機能の充実

(2) 観光の振興

- ・効率的効果的な営業に向けて、過去の予約データの整理や旅行会社向けPR資料の整備
- ・旅行会社への積極的な営業活動の展開
- ・中部地域の観光関係団体等と連携した営業活動
- ・ホームページやSNS、マスメディアの活用など効果的な広報宣伝
- ・アンケート調査、館内ガイドの充実などによるサービスの向上
- ・館内外国語表記の充実や海外旅行会社の説明会への参加など外国人観光客の誘致促進

(3) 果樹の振興

- ・ガイド機能の強化や梨の食べくらべ、試食会等の実施による県産果樹の情報発信
- ・鳥取梨づくり大学の開講や梨のなんでも相談室の常設による梨生産農者等への情報提供

(4) 食農教育の推進

- ・学校関係者のニーズに対応した入館メニューの開発
- ・梨に関する体験学習の実施
- ・夏休み親子自由研究教室の開催

2 令和2年度の成果・課題

(1) 体験型メニューやイベントの拡充

- ・団体向けに「果実の甘いところ探し」を企画したが、コロナ感染拡大により未実施
- ・週末を中心にワークショップを開催し、ワークショップを目的に来館者が増えるなど、集客力が向上するとともに手数料収入が増加

(2) SNS活用の強化

- ・ツイッターを開始し、梨の食べ比べ情報やイベント情報を発信
- ・フォロワー数がまだ少なく発信した情報が拡散していないので、フォロワー数獲得が課題

(3) 梨ガーデンの魅力アップ

- ・梨のジョイント栽培の棚を新設
- ・ジョイント栽培の梨の木が成長するまで2年間にかかるので説明看板等の設置が必要

3 令和3年度に取り組む重点項目

(1) 20周年事業

- ・AR技術を用いて3Dのデジタルキャラクターを出現させ、フォトスポットの創出
- ・長期休暇に梨謎解きイベントを開催
- ・ナッシー等キャラクターを利用したオリジナル商品の作成

(2) SNS活用の強化

- ・日本で唯一の梨のミュージアム、梨の聖地として全国に向けた周知
- ・広告やキャンペーンを実施し、フォロワー数の獲得
- ・集客が期待される特定の地域や客層をターゲットとした情報発信の充実強化

(3) 体験型メニューや食イベントの拡充

- ・ワークショップ系の体験型イベントや参加型イベントの拡充による集客力向上
- ・県産果実の試食会や梨を使った料理・加工品を紹介するイベントを開催し、梨の消費拡大
県産果実のPR

(4) ネット販売の強化

- ・SNSや広告によるアクセス人数の増加・20周年キャンペーン等を実施し収益向上

4 令和3年度その他の取組項目等

特になし

5 コロナ感染継続時の対応

- (1) 20周年事業 (2) SNS活用の強化 (4) ネット販売の強化については実施
(3) 体験型メニューや食イベントの拡充については中止又は縮小

令和3年度 夢みなとタワー事業計画

<p>1 管理運営の基本方針</p> <p>(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none">・お客様目線でのサービスの充実、魅力あるイベントの開催による更なる集客の促進 <p>(2) 観光振興への寄与</p> <ul style="list-style-type: none">・鳥取県及び環日本海諸国を中心とする自然、歴史、文化の紹介や情報発信・地域連携イベント等を通じた賑わいの創出による観光振興 <p>(3) 周辺施設との連携による賑わいの創出</p> <ul style="list-style-type: none">・周辺施設、関係機関との連携により、竹内地区の賑わいを創出
<p>2 令和2年度の成果・課題</p> <p>(1) 新日本海新聞社と連携した大型イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none">・2020年春の大型企画展は全面中止・夏の大型企画展はコロナ禍に対応した謎解きイベントに変更して実施 <p>(2) イベントの充実について</p> <ul style="list-style-type: none">・オリンピックパブリックビューイングは中止・eスポーツ大会は内容を変更して「カニノケンカ大会夢みなとカップ」として実施 <p>(3) 周辺環境の変化への対応について</p> <ul style="list-style-type: none">・境夢みなとターミナルとの連携は利用客が無いため小規模な連携のみ実施・物販施設との連携は施設が部分開業に留まったため全面開業後の連携に向け調整中
<p>3 令和3年度に取り組む重点項目</p> <p>(1) 新日本海新聞社と連携した大型イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none">・春「ざんねんないきもの事典」R3年3月20日～5月9日の36日間・夏「移動水族館(仮)」R3年7月17日～8月22日の37日間 <p>(2) イベントの充実</p> <ul style="list-style-type: none">・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催された場合、シアターにて「パブリックビューイング」を実施・「カニノケンカ大会夢みなとカップ」を中心としたeスポーツイベントを規模・日数を拡大して実施 <p>(3) 周辺環境の変化への対応</p> <ul style="list-style-type: none">・物販施設全面オープンに合わせた運営事業者との連携強化(現在部分開業中)・クルーズ船再開後の境夢みなとターミナルとの連携強化(R2年度寄港無し)
<p>4 令和3年度その他の取組項目等</p> <p>(1) コロナ後の需要変化への対応</p> <ul style="list-style-type: none">・リモートワーク、リモート会議需要に対応する貸会議室等へのネット環境整備・県内教育旅行需要に対応した学校・子供会向け体験メニューの開発、広報
<p>5 コロナ感染継続時の対応</p> <p>(1) 感染拡大防止対策の徹底による安心安全なサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染予防対策マニュアルに基づく感染拡大防止対策の徹底(R2年度中に鳥取県版「新型コロナ対策認証事業所」認証取得予定) <p>(2) 感染拡大状況に応じた事業の見直し</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症対応事業継続計画(BCP)に基づき、感染拡大状況に応じて段階的に事業内容および集客範囲の見直しを実施することで、貸館やテナント管理といった観光部門以外への影響を最小化(鳥取県企業BCP基本モデルに準拠した事業継続計画(新型感染症対応)を策定済)・特に共催事業に関しては、基本的に感染拡大状況に応じて入場制限等の対策を取って可能な限り開催するが、集客が見込めず事業の採算が危ぶまれる場合は、相手先と協議の上、内容変更や中止となることも想定

令和3年度 とっとり花回廊事業計画

1 管理運営の基本方針

(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

利用者の立場に立ったサービスや新規に植栽の見どころづくり、庭園の魅力を高め、各種イベントの充実と地域と連携した展示や発表の機会を拡大

(2) 観光振興への寄与

花をテーマとしたショーガーデンとして、植栽テーマを持ったクオリティの高い庭づくりを実施

(3) 県内花き園芸の振興への寄与

県内優先調達による花き生産者の生産の安定や関係機関と連携し生産者の技術指導を実施

2 令和2年度の成果・課題

(1) 年間テーマ「花の祭典」

東京五輪の開催機運に合わせたテーマ設定で、園内の展示やイベントを実施する予定であったが延期により、五輪関連の内容は縮小せざるを得なかった。テラス等の植栽展示は予定通り実施した。

(2) 入園者数増に向けた取り組み

春の集客を強化する予定だったが、コロナによる臨時休園で4、5月は昨年度の12%、再開後も昨年80%にとどまっている。感染の状況を見極めながら、回復に備えて準備を行っていく。

(3) 園芸フェアの開催

コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた講演会等は縮小し、マルシェやワークショップなどを実施。9月の連休もあり昨年同時期と同程度の集客となった。

(4) イルミネーションについて

デザイン・設置の業者委託を自主施工に切り替え、大幅に経費を削減。開催規模も昨年の140万球から100万球とし、エリアも縮小して実施した。12月下旬以降の大雪とコロナ第3波の影響もあり来園者は昨年の64%となった。

山陽側への広報を控えたなかで、12月中旬までは昨年対比86%の来園があり、展示に対する来園者の反応も良かった。昨年度のイルミネーションが、全国のランキングで9位にランクインするなど内容の評価は高いと思われるので、中長期的視野で内容充実と、収支構造の改善に継続して取り組んでいく。

(5) 地域連携事業について

コロナ禍により、予定されていたコンサート、花火大会、展示会は軒並み中止となり、9月に開催予定だった鳥取県防災フェスタは次年度に延期となった。

南部町と連携したウォーキングイベントを開催し約100名の参加者があった。

秋以降、県内学校の遠足、修学旅行での利用が増加。今後の継続的な利用につながるよう情報提供を行う。

1月の南部町成人式は、感染防止対策を講じて開催され会場提供を行った。

(6) インバウンド客の集客促進

コロナ禍で外国人の入込はほぼ無くなっており、今後の見通しも立たない状況であるが、商談会等に参加し、情報収集、ルートづくりを進めている。

3 令和3年度に取り組む重点項目

(1) 年間テーマ「Smile」

難しい社会状況の中ではあるが、満開の花でお客様をお迎えし、元気を届けたいという思いで「驚き」や「感動」を誘う植栽展示を行う。

(2) 入園券自動発券機の導入

入園料の改定を行うとともに、入園券の自動発券機を導入する（7月予定）。券売担当スタッフの負担軽減を図るほか、サービス券の発行等来園者サービスの充実につなげる。また来園者データの収集ができるシステムを確立する。

(3) 友の会会員増キャンペーン

コロナ禍のなかでも、とっとり花回廊の広い園内で安らぎを感じていただけるよう、令和3年度の1年間限定で入会・継続キャンペーンを実施し会員数の増加を図る。またLINE会員を新設するなどして、サポーターの増加を目指す。

(4) WEB関連の発信力強化

試験的に実施している YOUTUBE の動画配信を始動する。動画制作の体制づくりを行うとともに視聴者の増加を図る。これにはSNSのフォロワー増加を合わせ、若手職員を中心としたプロジェクトチームを編成し取り組む

(5) 花のスイーツ提供

レストラン花かいらうのカフェタイムの強化、および話題の発信を目的として、鳥取県産エディブルフラワーを使用したスイーツを開発し、提供する。

(6) 園内魅力づくりの取り組み

植栽展示において、「既存の強みの強化」、「家族連れ・若年層への魅力強化」、「見るプラスα」の観点で、園内の魅力づくりに3年計画で取り組む。

R3年度はトレインルートの充実に取り組み、マメナシの植栽、緑肥作物等を使用した花畑の整備を実施。

4 令和3年度その他の取組項目等

(1) 皆生温泉との連携（皆生花壇事業の継続、PR事業の連携）

(2) 周辺市町村との連携（南部町花火大会、成人式等）

(3) 花と緑のフェア（鳥取県造園建設業協会西部地区主催事業）

(4) 花のまつり等、鳥取県花卉振興協議会の事業

(5) 米子高専手作りベンチ製作

(6) 山陰・山陽花めぐり街道協議会

(7) 鳥取県防災フェスタの会場協力

(8) フラワーイルミネーションの実施（自主施工中心で実施、演出照明等導入）

5 コロナ感染継続時の対応

第4期指定管理の事業計画に沿った魅力づくり事業は、変更なく事業を進める。

広報、イベントは感染拡大状況に合わせて、ターゲットエリアを縮小するなど、適宜見極めをしながら実施していく。